

学 界 消 息

1. 日本学術会議の中央選挙管理会の第部委員に高橋浩一郎氏、力武常次氏が選出された。

表記の第4部委員を選出するについて、日本気象学会から1名推薦するよう、日本学術会議から連絡があったが、時日が切迫しているため、会員の意向をまとめる暇がなく、理事長は高橋理事を推薦、選挙の結果、高橋浩一郎氏、力武常次氏が選挙された。

2. 名誉会員推薦

多年日本気象学会に尽力された佐藤順一氏、筑地宣雄氏を名誉会員に推薦することが、常任理事会で決定された。この件は5月の総会に上提される。

3. 定款改正案

定款第36条中、………通常会員の総数の1/15以上…とあるが、現在1/15とすると93名となり、東京以外で総会を開くことが困難となる可能性があるため、1/15を1/25にする案を総会に提出することが、常任理事会で決定された。なお1/25とすると56名となる。

4. 吉松隆三郎氏、淵秀隆氏、理博に

両氏は理学博士の学位を東京大学から授与された。

5. 上利周一氏逝去さる

4月5日朝上利周一氏が心臓病のため逝去された。

6. 新入会員

浅野錦蔵 (京都大学)	近藤政一(函館海洋気象台)
臼方良夫 (大阪管区気象台)	熊井輝義(高松地方気象台)
井手一雄 (松山測候所)	大島正三 (松山測候所)
高橋武郎 (松山測候所)	新居田明 (松山測候所)
野本三男 (松山測候所)	玉井定直 (松山測候所)
矢野林造 (松山測候所)	栗林逸夫 (松山測候所)
西岡正勝 (洲本測候所)	神代賦信(福岡管区気象台)
時田光彦 (教育大学)	大倉陽子 (教育大学)
浅田正彦 (気象庁通報課)	川原琢磨 (三重大学)
村松久史 (京都大学)	

7. 日本気象学会創立75周年記念事業資金密附者名簿(7)

昭和32年3月10日から4月9日までに御寄附を頂いた方々(到着順)は次のとおりです。なお、これをもって申込領収証に代えさせていただきます。もし掲載隠れの方がありましたら至急御連絡下さい。

105 北田道男 6口	111 三宅恒夫 6口
106 大西慶市 11口	112 来海徹一 6口
107 鈴木 齊 6口	
108 喜多村一男 6口	
109 山根万喜夫 6口	小 計 53口
110 萩谷長男 6口	総 計 1,143口

8. 昭和32年度気象分科会例会(第2部)スケジュール

6月12日 航空気象
6月13日 レーダー、水気象に関するシンポジウム

7月	数値予報
8月	気象教育、気象学史
9月	衛生気象(関西において)
10月	降水、観測、気象測器
11月	気象電気
12月	休み
1月	太陽活動
2月	長期予報、気候、気象統計、航空気象
3月	海上気象(東北において)

例会第1部では、毎月分科会に関係なく、一般論文が講演される。9月、3月以外の例会は東京で行われる。

9. レーダー気象と水気象に関するシンポジウム

電力気象連絡会と共催

期日 6月13日(金) 13.00より

会場 東京・気象庁

議題「レーダーの水気象への応用」

話題提供者

レーダー気象関係	気象研究所	今井一郎
	同	上 吉原善次
	東京管区気象台	大塚 茂
	大阪管区気象台	(未 定)
	福岡管区気象台	(/)
水気象関係	気象庁予報部	石原健二
	気象庁観測部	五十嵐浩三
	東京管区気象台	藤田兼吉

10. 第4回航空気象シンポジウム

「航空気象講演会とジェット機時代の航空気象のあり方についてのシンポジウム」

日本気象学会第4分科会

日本航空学会 共催

日時 昭和32年6月12日(水) 13時より

場所 東京国際空港ターミナルビル3階 航空局会議室

航空気象講演会(13時~16時)

1. 上層風の加速について 20分 光野 一
(東京航空気象台)
2. Relaxation method による Prognostic Chart
の検討 15分 杉本 豊(/)
3. 東京国際空港における地上風について15分
山田直勝(/)
4. 日本の国内航空路における着氷の可能性について
20分 山田直勝(/)
5. その他

ジェット機時代の航空気象のあり方についてのシンポジウム(16時~17時)